第1回平塚市社会教育委員会議要旨

- 1 日 時 令和6年6月5日(水) 15時10分～17時00分
- 2 会 場 平塚市役所410会議室
- 3 出席委員 渡邊委員、小島委員、鈴木委員、丸島委員、國正委員、西郷委員、
宮路委員、西田委員、飯田委員
欠席委員 比企委員、笹尾委員
- 4 事務局 石川社会教育部長、石塚社会教育課長、鳥居中央公民館長、
木村課長代理、木村主査、吉水主事
- 5 傍聴者 なし
- 6 会議要旨

<第1回会議>

※資料の確認

事務局から配付資料の確認があった。

1. 自己紹介

各委員、事務局職員の自己紹介が行われた。

2. 社会教育委員の職務等について

・社会教育法等関係法令について

<P3～5>

「社会教育法」、「平塚市社会教育委員に関する条例」及び「平塚市社会教育委員の会議に関する規則」について事務局から説明した。

○事務局

法律の抜粋、そして条例、規則の一部をご覧いただいたが、社会教育委員とは実際になじみが薄く、社会教育委員とは何か、何をすればいいのかということを理解することは非常に難しい。最近では、社会教育委員の役割として、市民の意見を行政に届けるコーディネート的な機能を有すると言われている。皆様がそれぞれの地域において、地域の意見を吸い上げていただき、それを社会教育委員会議に持ち寄り、意見交換をしていただきたい。

・令和4・5年度平塚市社会教育委員会議の実績について

<P6～8>

令和4・5年度の社会教育委員の活動について事務局から説明した。

○事務局

全体会議は、2年間で8回開催した。そして、その全体会議の協議内容を「子どもたちの地域参加・参画～顔の見えるつながりをめざして～(報告)」にまとめた。その他、神奈川県社会教育委員連絡協議会が主催する総会、研修会、理事会等に参加している。

3. 社会教育部の概要について

・教育委員会の組織、教育大綱と令和6年度教育の方針

< P 9 >

○事務局

教育委員会は、3部14課の体制で、各課の連携をより強化して諸課題に取り組んでいる。社会教育部は、社会教育課、中央公民館、スポーツ課、中央図書館、博物館、美術館の6課で構成されている。

<資料1 平塚市教育大綱>

平成26年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正されたことを受け、本市の目指す基本的な教育、学術及び文化の振興に関する総合的な推進を図ることを目的として市長、教育長、教育委員からなる総合教育会議を経て、「平塚市教育大綱」を策定している。

<資料2 令和6年度平塚市教育の方針>

6年度の平塚市教育委員会全体の基本方針や目標及び構成事業の概要を抜粋して掲載している。

・令和6年度社会教育部の予算と部内各課の事業予定

< P 10 >

○事務局

社会教育部の予算は、社会教育費と保健体育費を合わせた額である。時間も限られているので、社会教育課と中央公民館について簡単に説明させていただく。

< P 11、17 >

主な事業である地域教育力ネットワーク推進事業、放課後等子どもの居場所づくり推進事業、社会教育推進事業などについて、予算と事業の概要及び事業予定を説明した。

< P 18 >

中央公民館事業（市民大学講座、市民アカデミー）について、事業の概要及び事業予定を事務局から説明した。

< P 11～23 >

部内各課の令和6年度予算と事業予定について紹介した。

4. 議長及び副議長の選出について

○事務局

平塚市社会教育委員の会議に関する規則第2条第1項の規定により、議長及び副議長を置くとなっており、その選出方法は、第2条第2項により委員の互選によるとなっている。議長及び副議長を選出していただきたい。自薦・他薦は問わない。なお自薦・他薦がない

場合は事務局案を提示させていただく。

**※議長に丸島委員、副議長に飯田委員及び西田委員とする事務局案を賛成多数で承認。
神奈川県社会教育委員連絡協議会の理事を丸島議長とすることを賛成多数で承認。**

○事務局

議長・副議長が決定したので、以降は議長に進行をお願いしたい。

5. 議事

○議長

議事（1）令和6年度社会教育関係団体等への補助金の交付について、事務局から報告をお願いしたい。

（1）令和6年度社会教育関係団体等への補助金の交付について

< P 2 4 >

○事務局

補助金の交付については、先に社会教育法の説明をしたが、社会教育法第13条『国又は地方公共団体が社会教育関係団体等に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならない』という規定がある。

社会教育部の6課のうち団体に補助金を交付しているのは、社会教育課とスポーツ課の2課である。社会教育課においては、6年度は、補助金予算総額1,480,000円で、昨年度あった平塚市指定文化財保存修理等補助金の案件が終了したため△2,524,000円になっている。スポーツ課においては、補助金予算総額3,649,600円で、昨年度と同額である。

< P 2 5、2 6 >

参考資料として、部内の社会教育関係団体への委託契約一覧をまとめている。

※質疑なし

（2）今後の協議の進め方について

< P 2 7 >

②今期の協議テーマについて

○議長

社会教育委員会議では、2年1期で社会教育に関する協議テーマを設定し、協議した内容を報告書としてまとめている。今期の協議テーマについて、各委員の皆さんから御意見をいただき、次回定例会にテーマを決定していけたらと考えている。各委員の所属している団体等での活動で課題になっていることやご自身の社会教育に関する興味関心のあることなど、テーマとなりそうなものがあれば、お話しいただきたい。

○委員

今年度から校長となり、新任校長の研修会にて各地の情報交換をした際に金旭地区の特色ある活動として「おやじの会」があり、活発に地域活動がされていることを話した。社会教育関係団体のPTAの状況としては、非加入世帯が徐々に増加している状況で課題と

なっている。

また、中学校の学校祭では、地域の方が中心となり、30年以上豚汁を生徒達に振る舞う活動をされている。このような地域の繋がりを活かしていけるようにしていけたらと感じている。

○議長

豊田地区にもおやじの会はあったが、担い手が減ってしまい、現在は解散してしまった。金旭地区のように継続して活動しているのはとても素晴らしいと思う。

○委員

公民館運営委員を長く務めているが、学校教育や家庭教育はある程度イメージもしやすく認知されていると感じるが、社会教育はいまいち認知されていないように感じる。社会教育をアピールして、認知度を高めていけたらよいと考えている。

社会教育に限ったことではないが、担い手不足、人づくりが課題であると感じている。

○委員

今年1月に能登半島での大地震があったこともあり、最近の自治会で比重が高まっているものは災害に関することだと感じている。私の地区では、7月に防災キャンプを小学5・6年生と自治会とで実施する予定になっている。いつ起こるか判らない災害に備え、自分の身を自分でどうやって守るのかをテーマにやろうとしている。

○委員

私の地区では、自治会に加入しない世帯が多く、顔の見えない関係が増えていると感じている。災害の話が出たが、災害時には地域の繋がりが重要になると思うので、今とても大事なテーマであると感じた。

コロナ禍で夏まつりの開催ができていない時期があったが、昨年夏に外部からキッチンカーを呼んで開催することができ、新しい形の地域交流会が開催できた。久しぶりに皆の笑顔が見られて、このような交流が改めて大切だと感じた。

○委員

平塚市の社会教育の理想と現状と課題を把握したいと思った。過去にさまざまなテーマで協議されているが、今の平塚市の社会教育の現在地はどういう状況なのか、その立ち位置によって、これまでのテーマの延長でやっていくべきなのか、観点を変えていくべきなのかが重要であると思っている。

前期の報告書では「子どもたち」を主語にしたり、これまでの社会教育委員会議のテーマにも「子どもたち」という言葉が出たりしている。ここまで委員の皆さんの課題を聞くと大人の地域参加が課題のように聞こえるので、これまでの蓄積を踏まえて、どのような発信をすべきなのか、まず前提として揃える必要があると思った。

社会教育の予算に関する話があったが、一番最後に享受できている対象者は誰か、子どもなのか、大人なのか、大人向けの活動に割合が多く補助されているところが気になった。

今までの取り組みの中での連続性の部分と直近の社会課題をどう反映していくのかがテーマを決めていく中でポイントになると思っている。

大人の地域参加について、私は小さい子を持つ親であるが、参加してみようと思える地域の活動に出会えていない状況がある。一步踏み出せない原因がどういったところにあるのかを考えていくと大人の地域参加において掘り下げられるかと思う。

社会教育委員が過去に提言書や報告書をまとめているが、役割の違いがあれば教えていただきたい。

○議長

2年間で提言書まで仕上げるには時間的に難しいこともあり、最近では会議で協議した内容をまとめた報告書を作っている。

なかなか地域に関する内容は、それぞれ各地区では地域性があることもあり、報告書をまとめたからといってすぐに目に見えて変わることは難しい。理想的な内容で報告書をまとめ、それが社会教育の活動に少しでも役に立ててもらえると嬉しい。

○委員

P T Aでは、非会員が増えていたり、役員のみ手がなくなったりなどの課題がある。行事を減らすなどスリム化を図る考えもあるが、行事が減ってしまい寂しいとも感じる。(皆が参加したいような)魅力的な行事が増えていけばいいと思う。

○議長

前期の議論の中でも子どもたちの声を聴くために子どもたちが行事に参画できるという話が出ていた。教育委員との意見交換の際にも、子どもたちの声を聴きながら、地域活動を進めることは大切なことだという委員の話もあった。

○副議長

平塚市の社会教育の現状についての話が出たが、平塚市の社会教育施設は図書館、博物館、美術館、公民館などが揃っている。これらの施設が十分に活かされているかと言えば、まだ課題はあると思う。

平塚市の社会教育施設の資源を活かしていくことでP T Aなどの課題解決に繋がればいいと思う。過去のテーマを見ると「公民館」や「子ども」という内容が出ているので、違った内容がいいのではないかな。

○副議長

前期2年で報告書をまとめたが、この報告書の役割を考えた時に、社会教育に関わっている方に目を通してもらい、課題や方策などに気付いてもらうことが大事だと思う。しかし、これがなかなか難しいと感じている。地域では、現状の活動を実施するのに精一杯というところもある。役員の高齢化で大変ではあるが、コロナが落ち着いたこともあり、皆が喜ぶことや楽しいことができないか頑張っている状況である。地区ごとに特色や事情も違うが、ここでまとめた報告書が少しでも役に立てばいいと思う。

○議長

地域に関するテーマを続けてきたが、そろそろ別の視点で協議してもいいのではと思う。平塚市の社会教育施設は、他市町と比較してもとても数が多く、充実した施設がある。施設としての資源もあるが、市の職員（学芸員、図書館司書、社会教育主事など）をはじめ、人的な資源も豊富だと感じている。今までは人的な資源を十分に活かしきれていないと思うので、これらの資源を活かした取り組みが広がるといいと思う。

○委員

地域で活動している中で、各団体が（単独で）活動するだけでなく、団体同士が繋がり、連携していけると今までできなかったさまざまなことができると思う。

今、県立図書館の子ども読書推進委員として活動しているが、まちライブラリーを子どもの居場所にする取組などがある。このような取組をいろいろな団体と連携していけると素晴らしいものになると思う。

○議長

情報発信は市でもたくさん発信してくれているが、なかなか必要な人に届いていないのではと感じることがある。このあたりはもったいないと感じる。

それでは、今回の会議で出てきた内容を持ち帰っていただき、次回会議で改めてテーマについて話し合いたいと思う。

（３）神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について

今年度の神奈川県社会教育委員連絡協議会の事業について、事務局から説明した。今後の事業予定として、研修会や地区研究会が予定されている。正式な開催通知が届いたら、改めて出席の意向を確認する。

令和7年度に関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会の開催を予定している。社会教育委員全員の参加をお願いしたい。（参加費、交通費は公費で計上予定）詳細は決まり次第お知らせする。

（４）今後の会議の予定について

第2回会議日程 令和6年7月23日（火）平塚市役所619会議室

6 その他

報酬の支給について、事務局から説明した。

以上